

Flag Basket (国旗ゲーム)

ゲームの概要	フルーツバスケットの国旗版
準備品	人数分の国旗 (A4 サイズに拡大コピーしておく) 保存を考えラミネートをかけておくとよい
主な英語表現	<p>I can see two colors, yellow and white. OK!</p> <p>I can eat rice. OK!</p> <p>※動詞やそれに伴う単語を変えることで様々な表現ができる</p> <p>①Color (色)・・・red, blue, yellow, purple, brown, white, green, pink, etc.</p> <p>②Shape (形)・・・square, rectangle, circle, star, etc.</p> <p>③Part (地方)・・・Asia, America, Europe, Africa, etc.</p> <p>④Food (食べ物)・・・rice, pasta, noodle, etc.</p> <p>⑤Sports (スポーツ)・・・Soccer, Baseball, Table Tennis, etc.</p> <p>⑥Word (文字)・・・A & B (「国名に A や B が入っている人は動きなさい」といった表現も面白い)</p>
ルール等	<p>(一人ひとりが無作為に国旗を選んで、正面に向けて持つ)</p> <p>1 (参加人数-1) 個分の椅子を用意して真ん中を向けて丸く並べる。</p> <p>2 中央に立った子が I can see yellow and white. OK! と言ったら、自分の持っている国旗にその色がある子全員が席を移動する。</p> <p>3 移動するときは、自分の席と両隣の席には座ることはできない。</p> <p>4 座れなかった子がまた中央に立ち、I can eat rice. OK! などと言ってゲームを続ける。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにとって言いやすい言葉 (color など) が続く場合は、他の条件で言うように促していく。 ・3回中央に立った子は、“Penalty (罰ゲーム) として、ジェスチャーをやる”といった負荷をかけてやるのも面白い。 ・動くタイミングとして、必ず OK! を聞いてから動くといったルールを徹底することで、遊びのルールを身につけたり、国際理解にも役立ったりすることを伝える。